

23年度運営目標 未達成(×)一覧 【所属名：丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)	未達成となった要因・理由	24年度対応方針
			細目			
和牛振興基地をめざした牧場づくりを推進します。(和牛生産基地である碓高原牧場における和牛子牛の生産拡大)	①和牛受精卵(胚)の生産譲渡の拡大や担い手農家への妊娠した牛の譲渡 (受精卵(胚)譲渡数 300胚) (妊娠牛譲渡数 10頭以上)	×	×	<ul style="list-style-type: none"> ・受精卵(胚)譲渡数 152胚(50.6%) ・生産 330個 ・妊娠牛譲渡数 3頭(30%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・受精卵生産個数は譲渡目標の300個を達成したが、主要な需要先の酪農家乳牛について、平成23年度の生乳計画生産が震災の影響により増産へ転換となったことから、後継牛(雌牛)確保が優先となり受精卵の需要が後退、北海道預託牛向けの受精卵供給などを行なったが、3月末の譲渡数は目標の50.6%にとどまった。 ・妊娠牛譲渡は急遽譲渡時期が4月に延期となったため未達成となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産する受精卵は、全国的にも通用する血統のものであり、24年度も農協等の要望に沿って生産に努める一方、受精卵のPR及び府内の未利用農家や大規模酪農家に対しても販売促進の検討を行う。 ・妊娠牛譲渡については、妊娠頭数増により24年度譲渡目標達成を図る。
	②優良和牛繁殖雌牛の導入(8頭以上)と遺伝的能力の高い子牛の安定供給(子牛出荷50頭、生産頭数55頭、妊娠頭数60頭)		○	<ul style="list-style-type: none"> ・優良和牛繁殖雌牛導入9頭(112%) ・子牛出荷頭数 49頭(98%) ・子牛生産頭数 50頭(91%) ・妊娠頭数 55頭(92%) 	-	-

23年度運営目標 未達成(×)一覧 【所属名：丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)	未達成となった要因・理由	24年度対応方針
			細目			
市町や関係機関と連携した地域住民の活動支援等により、KTR年間利用者数 210万人を確保します。	①KTR利用促進協議会与連携し、住民参加のシンポジウムの開催等を通じて、地域の公共交通ネットワークへの住民意識を向上	×	○	<ul style="list-style-type: none"> ・5/22住民参加シンポジウムを開催(参加者約600人) ・沿線住民が主体となった「40万人ワンモア運動」などを展開。(網野高校「丹後の旅」企画、学Book作成 吉津婦人会「高齢者ほっとサロン」「けいおん」ラッピング列車、語り部観光列車運行 宮津駅舎音楽イベント開催など) ・KTRフラワーオーナー制度や地域力再生交付金を活用した地域団体や住民主体による駅での花壇整備等(峰山駅、野田川駅、岩滝口駅等) 	-	-
	②四半期毎に利用者状況を検証の上、沿線市町と連携し、通勤時の利用促進などの取組を強化		○	<ul style="list-style-type: none"> ・KTR発着時刻に合わせた会議開催 ・毎月1日はKTRに乗る日運動の展開 ・京丹後市、与謝野町 KTR・バス連携時刻表全戸配布 ・京丹後市職員KTR通勤強化(157ヶ月分定期購入) 	-	-
	③KTRを支える沿線市町と連携して、サポーターズクラブ会員等1万人達成に向けて、サポーターズクラブ会員、トレインオーナー年間5,000人を獲得 【22目標：5,000人→実績：4,056人】		×	<p>サポーターズクラブ(2,510人)、トレインオーナー会員(1,850人) 4,360人(87.2%)</p> <p><参考> フラワーオーナー2,974口(計7,334)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会員向け特典を新設(1日フリーきっぷ割引等) ・KTRの魅力向上への取組(「けいおん」ラッピング列車、語り部観光列車、駅舎コンサートなど) ・フラワーオーナー制度によるプラットホーム等への花壇整備(峰山駅、野田川駅、岩滝口駅等) ・地域が一体となった取り組みを進め、昨年実績以上の会員を獲得するも目標数には至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丹後2市2町の若手職員等による地域版チームKTRを形成し、定期的な検討会を開催し、地域での利用促進策を企画・実施
	④「北部地域総合公共交通検討会」を設置し、北部地域の総合的な公共交通のあり方について検討し、公共交通機関の平成24年ダイヤ改正に反映		×	<ul style="list-style-type: none"> ・23年4月、7月、9月検討会開催 ・管内各市町における地域版チームKTRの形成を推進 ・宮津市：若手の観光協会や市職員等の企画アイデアを取りまとめ ・京丹後市：自治会や高校、経済団体等の実施事業等の拡大等を展開 ・与謝野町、伊根町も含めた丹後版チームKTRの活動を展開予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会3回開催し、ダイヤ改正や経営合理化等を検討 ・チームKTRの新設により、専門家による魅力ある列車づくり等を実施 ・地域版チームKTRの設置を推進 ・今後のあり方について検討を進めるも、ダイヤ改正への反映には至らず、継続して検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ・KTRフラワーオーナー制度等との連携による花壇整備をはじめ、駅舎の有効活用や駅周辺の整備等を地域が一体となって推進し、地域のおもてなし力を向上

23年度運営目標 未達成(×)一覧 【所属名：丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)	未達成となった要因・理由	24年度対応方針	
			細目				
「たんご健康長寿日本一」を推進します。	【主要目標】 ①がんの予防と早期発見・早期治療を進めるために、胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん、大腸がん検診の受診率50%を目標に、受診率の低い市町の受診率を30%以上に向上	×	×	管内市町毎の受診率 23年度 22年度 低値 高値 低値 高値 胃がん 16.0~31.5% 16.4~32.9% 肺がん 28.3~55.5% 27.6~56.3% 大腸がん 23.9~50.4% 21.9~50.0% 乳がん 24.2~52.4% 25.2~52.3% 子宮がん 19.8~54.2% 13.2~51.3%	新たに検診の無料化や個別勧奨等により受診率が上昇した町もあるが、一部の市町においては受診勧奨の取り組みや広報が不十分であったことも要因。 (受診率の高い市町は個別受診勧奨や地区組織の活動、防災無線・有線テレビ等の広報や未受診者への再通知等きめ細かい受診勧奨を行うよう支援。)	・検診受診率の低い市町を重点に、キャンペーン、出前講座等による啓発を実施(目標5回)するとともに、当該市町に対し地域へ出向いての受診指導や未受診者への再通知等きめ細かい受診勧奨を行うよう支援。	
	・「健康長寿推進丹後地域府民会議」に、新たに「がん対策部会」を設置し、参画団体との協働による啓発を実施(部会2回)			○	・30団体参画による「がん対策推進部会」を設置し情報共有や対策を検討。 (部会 2回開催) (100%) ・「がん対策推進部会」主催の「健康フォーラム」を1回開催し、210人に啓発を実施	—	—
	・市町や職域・女性等の関係団体との協働による「がんフォーラム」やターゲットを絞った「健診受診キャンペーン」を実施(10回)			○	・関係団体との協働による啓発キャンペーンを13回実施(約1700人に啓発)(100%以上) ・ピンクリボンライトアップを実施(みやづ歴史の館)	—	—
	・「健康だより」を発行し、府民会議の参画団体の活動や、がんの予防等の啓発を実施(年3回)			○	・「健康だより」を3回発行し、55の参画団体や府民への啓発を実施(100%) ・「丹後労基ニュース」に投稿し、がんの予防や検診について啓発、約500の事業所に配布	—	—
	②地域でいきいきと暮らしていくための地域リハビリテーションの充実強化						
	・理学療法士の複数体制での活動などにより、地域リハビリテーション支援センターの機能を強化			○	・丹後中央病院を「地域リハビリテーション支援センター」に指定し、医師1名、コーディネーター2名、スタッフ7名の体制を構築	—	—
	・宮津与謝地域に地域リハビリ支援センターの支所的機関を新たに設置し、同地域での相談体制を強化			○	・宮津与謝地域における協力機関として「NPO法人丹後福祉応援団」を位置付け、相談事業を実施 ・宮津市、与謝野町、伊根町の地域包括支援センター連絡会に8回参加し、ケアマネージャーへの相談等実施	—	—
	・地域リハビリ支援センターの活動の円滑化に向けて、圏域連絡会やリハビリ検診会を通して関係機関との連携を強化(2回)			◎	・関係機関と合計5回の検討会を開催し、連携を強化。(圏域連絡会1回、リハビリ検診会2回、管内地域包括支援センター連絡会を2回開催) (250%)	—	—

23年度運営目標 未達成(×)一覧 【所属名：丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)	未達成となった要因・理由	24年度対応方針
			細目			
建築物の安心・安全の確保を推進します。	①管内市町と連携し木造住宅耐震改修(補助)を促進 (管内市町で耐震改修 10戸) 【22実績：11戸】	×	×	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の申込数は7戸(内、6戸完成) (京丹後市6戸、伊根町1戸) ・事業者向説明会2回開催(5月、8月) ・啓発(出前講座1回、耐震フェア1回開催) ・募集枠増加のため、各市町議会で補正予算 (宮津市0→5、京丹後市2→12、与謝野町1→3、伊根町0→1) これにより、昨年実績(10戸)を倍増する(21戸)予算枠を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・H23年度前半は、H22年度末補正(緊急経済対策)の繰越し執行(9件)を中心に従事 ※実質、H23年度はH22繰越し分を含めて16件の改修を実施(通常年の1.6倍) ・H23年度分については、12月補正で予算枠を広げて取り組んだが、家主が改修時期として冬期を敬遠したため、耐震改修工事件数が延びなかった。(この冬の豪雪が特に追い打ちをかけたと考えられる。) 	<ul style="list-style-type: none"> 24目標:50戸(簡易型耐震改修を含む) ・実際に改修を行うのが診断済家屋の1割程度という実態に鑑み、診断済家屋に対して個別に簡易型耐震改修制度を周知するなど、PR方法を工夫 ・一般府民向け普及や啓発を目的として耐震フェアを開催